

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス芽吹		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 1日 ～ 令和8年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 1日 ～ 令和8年 3月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心・安全で清潔な生活環境と個に応じたスペース確保	毎日の清掃・消毒を徹底し清潔を保持するとともに、個別学習やクールダウンができる専用部屋を用意する等、お子さまの特性や状態に合わせた構造化・空間配置を行っています。	今後も利用人数の推移や活動内容（集団活動・個別プログラム）の変化に合わせ、より安全で伸び伸びと過ごせる環境の維持・改善を図ります
2	一人ひとりに寄り添う共感的な支援と満足度の高さ	支援開始前後のスタッフミーティングで児童の様子や情報をきめ細かく共有し合い、送迎時や連絡帳を通じて保護者様との丁寧な意思疎通・信頼関係構築に努めています。	全ての保護者様・お子さまから「安心感」「通所の楽しさ」「支援への満足」の評価（100%）をいただいた点を継続できるよう、引き続き温かい共感的支援を徹底します。
3	日常的な密な情報共有とSNSを活用した活動の見える化	6ヶ月ごとのモニタリング面談に加え、日常的な相談対応やInstagram等のSNS・通信を活用した日々の活動概要・行事予定等の情報発信を積極的に行っています。	今後も活動内容の見える化を推進し、日々の取り組みや安全管理対策（ヒヤリハット共有等）の状況を保護者様へより分かりやすく発信してまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流や他機関（児童館等）との活動機会の確保	近隣施設や地域住民との定期的な連携行事の機会がまだ十分ではなく、他のこども達や地域と関わる設定が少ない状況があります。	移動時や活動時の安全面に十分配慮した上で、地域の公共施設利用や他事業所・地域団体との交流機会を計画的に企画・拡大してまいります。
2	保護者同士の交流機会や家族支援プログラムの提供	個別相談やモニタリング対応は行っておりますが、保護者会・座談会やペアレント・トレーニング等の家族向け研修の開催実績が不十分でした。	保護者様のニーズや参加しやすい形式（時間帯・オンライン等）を把握・検討し、保護者様同士の交流の場や子育てに役立つ勉強会・情報提供の機会を順次導入します。
3	職員配置体制や安全マニュアル等の積極的な周知	基準に合わせた人員配置や各種マニュアルの策定・訓練を行っているものの、保護者様への具体的な体制や運用に関する周知・説明が一部不足していました。	契約時だけでなく、事業所だよりや掲示物等を通じて職員体制や非常時・防災マニュアルの要点、安全計画の取り組みについて分かりやすく周知・発信します。